



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 日本コークス工業株式会社

コード番号 3315 U R L <https://www.n-coke.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松岡 弘明

問合せ先責任者 (役職名) 人事・総務部長 (氏名) 奥苑 隆幸 TEL 03-5560-1311

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	71,537	△8.2	1,336	-	840	-	△4,922	-
2025年3月期第3四半期	77,918	△26.6	△4,362	-	△5,365	-	△4,756	-

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 △4,631百万円 (-%) 2025年3月期第3四半期 △4,823百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	△16.92	-
2025年3月期第3四半期	△16.34	-

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2026年3月期第3四半期	131,794		36,968		28.0	
2025年3月期	130,630		41,600		31.8	

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 36,968百万円 2025年3月期 41,600百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	円 銭
2025年3月期	円 銭 -	円 銭 0.00	円 銭 -	円 銭 0.00	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2026年3月期	円 銭 -	円 銭 0.00	円 銭 -	円 銭 0.00	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2026年3月期(予想)					0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	一	-	一	-	一	-	一	-	一	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日（2026年2月6日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3Q	302,349,449株	2025年3月期	302,349,449株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	11,326,526株	2025年3月期	11,325,681株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3Q	291,023,322株	2025年3月期 3Q	291,024,518株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善による緩やかな回復がみられる一方、米国の通商政策による海外経済の下振れリスクや、物価上昇の継続による個人消費への影響などの懸念もあり、景気の先行きが不透明な中で推移しました。

このような状況のもと、当社グループのコークス事業は、昨年度発生した北九州事業所における火災事故の反省に立ち、安全最優先のもと業績回復に総力を挙げて取り組む方針で今年度をスタートいたしました。

業績回復に向けた取り組みとしては、新鋭2A炉と安定稼働が見込める1A炉を中心とする操業とし、老朽2炉団についてはメリハリの効いた修繕とリソース配分によりコスト削減を重視した運営としました。その結果、操業の安定化により製造原価が着実に低減、コークス事業の単四半期営業損益が黒字化するなどの実績も出始めました。さらには、北九州事業所内各設備最適化の技術的課題も目途がついたことから、健全2炉団中心の操業を進化させ、老朽2炉団を完全停止し健全2炉団のみによる生産体制最適化に踏み切ることを決定し、11月に計画を公表いたしました。

一方で、11月に重大災害、12月末に石炭搬送用ベルトコンベアの火災事故を発生させてしまいましたことは誠に申し訳なく痛恨の極みであります。事故・災害のない職場づくりを改めて社員一同肝に銘じ、徹底した原因究明と再発防止に努め、安全操業とコークス生産体制最適化実行の両立を目指していく所存です。

12月末の火災事故の影響額は算定中ながら今年度の業績を下押しする要因となります。一方でコークス生産最適化計画では今回焼損したコンベア設備の大半は使用しない予定であったことから、その復旧は行わず、当初計画の搬送ルートの確立を急いでおり当初より早期での完全2炉団化を目指します。

コークス事業以外の各事業については環境変化に応じつつ、引き続き安定的な収益の拡大を目指す方針です。燃料・資源リサイクル事業においては、燃料の販売に加え私有港湾設備とコールセンターを有する優位性を活かした事業ですが、気象異変により近隣地区で発生した燃料流通の混乱を補完するなど、揚陸、備蓄、配送についてインフラも含めた対応力を発揮するビジネス展開も行っております。また、化工機事業においては、日本食に対する需要の高まりを背景として、抹茶製造工程で使われる機材の受注が好調であることから、ティーマイスター・ミルと称した新商品を投入、ニッチ分野の強みを活かした展開も進み、当社グループ全体の事業ポートフォリオを下支えしてまいります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は、前年同期比63億8千1百万円減少の715億3千7百万円、連結営業損益は、13億3千6百万円の営業利益（前年同期は43億6千2百万円の営業損失）、連結経常損益は、8億4千万円の経常利益（前年同期は53億6千5百万円の経常損失）となりました。

なお、親会社株主に帰属する四半期純損益は49億2千2百万円の純損失（前年同期は47億5千6百万円の純損失）となりました。

(セグメントの概況)

コークス事業につきましては、前述の理由などにより、売上高は、前年同期比29億7千2百万円減少の447億7千9百万円、営業損益は、11億7千3百万円の営業損失（前年同期は70億2千4百万円の営業損失）となりました。

燃料・資源リサイクル事業につきましては、売上高は、前年同期比26億円減少の182億8千8百万円、営業利益は、前年同期比1億5千1百万円増加の24億3百万円となりました。

総合エンジニアリング事業につきましては、売上高は、前年同期比11億7千万円減少の54億6千6百万円、営業利益は、前年同期比3億2千万円減少の9億4千4百万円となりました。

その他につきましては、売上高は、前年同期比3億6千1百万円増加の30億2百万円、営業利益は、前年同期比6千8百万円増加の4億6千9百万円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、1,317億9千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億6千3百万円増加となりました。増減の主なものは、原材料及び貯蔵品の増加42億3千万円、商品及び製品の増加10億8千8百万円、機械装置及び運搬具の減少26億7千7百万円、受取手形及び売掛金の減少11億6千6百万円等であります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、948億2千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ57億9千5百万円増加となりました。増減の主なものは、支払手形及び買掛金の増加104億5千5百万円、長期借入金の減少14億5千9百万円、流動負債「その他」の減少11億1千4百万円、短期借入金の減少10億1千万円等であります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、利益剰余金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ、46億3千2百万円減少の369億6千8百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、本日（2026年2月6日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	5,109	5,907
受取手形、売掛金及び契約資産	12,879	11,713
商品及び製品	12,102	13,190
仕掛品	1,583	1,654
原材料及び貯蔵品	13,450	17,681
その他	829	857
流动資産合計	45,955	51,004
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	25,358	25,213
減価償却累計額	△17,220	△17,411
建物及び構築物（純額）	8,138	7,802
機械装置及び運搬具	120,441	107,414
減価償却累計額	△85,406	△75,056
機械装置及び運搬具（純額）	35,034	32,357
土地	33,567	33,524
建設仮勘定	2,573	1,785
その他	2,772	3,005
減価償却累計額	△1,816	△1,973
その他（純額）	956	1,031
有形固定資産合計	80,270	76,501
無形固定資産		
その他	707	639
無形固定資産合計	707	639
投資その他の資産		
投資有価証券	1,292	1,639
繰延税金資産	1,599	1,180
その他	846	870
貸倒引当金	△41	△41
投資その他の資産合計	3,697	3,648
固定資産合計	84,675	80,789
資産合計	130,630	131,794

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,564	18,019
短期借入金	32,929	31,918
未払法人税等	286	236
賞与引当金	703	366
関係会社整理損失引当金	344	18
受注損失引当金	406	58
その他	5,938	4,823
流動負債合計	48,173	55,441
固定負債		
長期借入金	32,887	31,428
退職給付に係る負債	3,102	3,142
役員退職慰労引当金	48	40
環境対策引当金	3,989	3,978
その他	829	794
固定負債合計	40,857	39,384
負債合計	89,030	94,826
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,000	7,000
資本剰余金	1,750	1,750
利益剰余金	33,769	28,846
自己株式	△1,209	△1,209
株主資本合計	41,309	36,386
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	460	719
繰延ヘッジ損益	0	△0
退職給付に係る調整累計額	△170	△138
その他の包括利益累計額合計	290	581
純資産合計	41,600	36,968
負債純資産合計	130,630	131,794

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	77,918	71,537
売上原価	77,369	65,199
売上総利益	548	6,337
販売費及び一般管理費	4,911	5,000
営業利益又は営業損失(△)	△4,362	1,336
営業外収益		
受取利息	11	17
受取配当金	25	35
関係会社整理損失引当金戻入額	—	326
助成金収入	2	161
その他	37	22
営業外収益合計	76	563
営業外費用		
支払利息	374	637
為替差損	256	111
その他	448	309
営業外費用合計	1,079	1,059
経常利益又は経常損失(△)	△5,365	840
特別利益		
固定資産売却益	26	52
投資有価証券売却益	—	75
その他	5	0
特別利益合計	32	128
特別損失		
固定資産除却損	589	761
減損損失	—	※1 4,313
棚卸資産廃棄損	—	※2 177
その他	15	52
特別損失合計	605	5,305
税金等調整前四半期純損失(△)	△5,938	△4,336
法人税、住民税及び事業税	173	293
法人税等調整額	△1,356	293
法人税等合計	△1,182	586
四半期純損失(△)	△4,756	△4,922
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,756	△4,922

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純損失（△）	△4,756	△4,922
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△83	259
繰延ヘッジ損益	△5	△1
退職給付に係る調整額	21	32
その他の包括利益合計	△67	291
四半期包括利益	△4,823	△4,631
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,823	△4,631
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	3,761百万円	4,541百万円

(四半期連結損益計算書関係)

※1. 減損損失

当社は、2025年11月11日、コークス事業の安定した収益基盤の再構築に向け、北九州事業所のコークス炉4炉団の内、老朽化により生産能力が低下していた1B、2B炉団を休止し、コークス生産体制の最適化を行うことを決定いたしました。それに伴い、減損損失43億1千3百万円を計上しております。

※2. 棚卸資産廃棄損

前述の通り老朽化した2炉団を休止することにより、使用できなくなる棚卸資産の廃棄損1億7千7百万円を計上しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計額	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	コークス事業	燃料・資源リサイクル事業	総合エンジニアリング事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	47,751	20,888	6,637	75,277	2,640	77,918	—	77,918
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	7	1,813	1,820	299	2,119	△2,119	—
計	47,751	20,896	8,450	77,098	2,939	80,038	△2,119	77,918
セグメント利益又は 損失(△)	△7,024	2,251	1,264	△3,507	401	△3,106	△1,256	△4,362

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸荷役事業、不動産販売・賃貸事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△1,256百万円は、セグメント間取引消去△1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,255百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計額	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	コークス事業	燃料・資源リサイクル事業	総合エンジニアリング事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	44,779	18,288	5,466	68,534	3,002	71,537	—	71,537
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	6	1,941	1,947	259	2,207	△2,207	—
計	44,779	18,295	7,407	70,482	3,262	73,744	△2,207	71,537
セグメント利益又は 損失(△)	△1,173	2,403	944	2,174	469	2,644	△1,307	1,336

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸荷役事業、不動産販売・賃貸事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△1,307百万円は、セグメント間取引消去△40百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,267百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「コークス事業」セグメントにおいて、減損損失43億1千3百万円を計上しております。